

済生会山形済生病院

Yamagata Saisei Hospital





「済生」それは「生命を救うこと」

済生会は1911年5月30日、明治天皇の済生勅語によって創立されました。

100年を超える歴史があり、「済生」の心を受け継ぎ、保健・医療・福祉の充実・発展をめざし、数多くの事業を行っています。

現在、日本最大の社会福祉法人として、東京に本部、40の都道府県に支部を置いて活動しています。

社会福祉法人として、また公的医療機関として、その機能を充実させ、さらに発展させるべく、

病院、介護老人保健施設、老人・児童福祉施設、訪問看護ステーションなどの施設で

約64,000人の職員が保健・医療・福祉活動に取り組んでいます。

110周年 済生会創立

済生会は令和3年度110周年を迎え、総裁・秋篠宮皇嗣殿下ご臨席の下、東京都の明治記念会館で記念式典を開催しました。

また山形県済生会も昭和19年の創立以来、78年にわたり医療・保健・福祉サービスを提供しています。



約600件 分娩件数

当院にはNICUと連携した周産期センターがあり、県内の病院・医院からのハイリスクな妊婦さんの搬送も受けれています。

安全で安心できるお産になるよう、公認心理師、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーと連携をとって、チームで携わっています。



800件以上 人工関節手術

当院は昭和55年の整形外科開設以来、一貫して人工関節の手術を行ってきました。

充実の専門医陣の他、人工関節の専門的な知識を持ったリハビリスタッフも多く、一貫したリハビリテーションを365日体制で提供しています。



約450例 下肢静脈瘤治療

下肢静脈瘤の治療のひとつとして「下肢静脈瘤レーザー治療」を行っています。

また、その他下肢血行障害に対応するため、栄養管理やリハビリテーションなど多職種による下肢救済チームを発足しています。



済生会がSDGsで内閣官房長官賞を受賞

SDGs(持続可能な開発目標)は、誰一人取り残さない持続可能な社会を実現するため、2015年の国連サミットで採択された、世界共通の目標です。

昨年12月、済生会が第5回ジャパンSDGsアワードを受賞しました。

済生会は既存の医療・福祉の枠を超え、差別や分断のない社会の実現を目指しています。



Challenge for SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

一人ひとりができることから始めよう

一人ひとりの行動で『未来が変わる』『未来を変える』『未来へつなぐ』



令和4年11月人工関節センター・周産期センター開設

山形済生病院はこれまで、整形外科・産婦人科の診療を柱としてきました。
特色ある病院づくりとして、令和4年11月より人工関節センター・周産期センターを開設し、
今まで以上に地域の医療機関や患者さんに選ばれる病院を目指します。

人工関節 センター

人工関節治療の拠点病院として…

整形外科開設から40年、数多くの手術を行っており、現在人工関節手術件数は年間800件以上となっています。

高度な技術が必要とされる人工股関節再置換術は年間20例以上、両側同時膝関節置換術も年間70例以上行っており、難度の高い症例は県外からも紹介があります。



人工関節手術件数年間800件以上



充実のリハビリスタッフ



充実の専門医陣



センター内リハビリルーム

術前から術後、退院まで専門のスタッフが関わります

病棟内にリハビリルームを設置したことで、患者さんが移動せずにリハビリができるようになりました。
専門スタッフによる医療・看護・リハビリの集約的医療を提供します。

周産期 センター

母体と赤ちゃんにとって安全で安心な病院を目指して

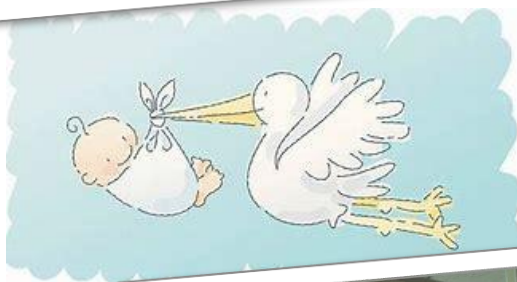
ハイリスクな妊婦さんの妊娠管理を行い、搬送される母体や赤ちゃんに必要な高度医療を行っています。また産科外来と産科病棟の一元化により、妊娠初期からお産後まで切れ目のないケアを提供しています。助産師による妊娠各期に応じた保健指導、産後のおっぱい外来などを行っています。



安心して出産できる快適な環境



患者さんが安らげるラウンジ



分娩室(森のお産)



LDRにてご家族と一緒に赤ちゃんを迎えることができます

利便性が高く、心地よい環境を

助産師外来、おっぱい外来、IVF、カウンセリングルームを同じフロアに集約し、患者さんにとって利便性が高く、心地よい環境の中で安心してお産に臨んでいただけるように改善しました。

患者さん同士が交流できるサロンや、青空や草花をイメージしたラウンジを設置することで全ての妊婦さんがほっと安らげる空間を目指しています。

種を超えて協働する「チーム医療」



緩和ケアチーム

緩和ケアチームは、週に1度、依頼を受けた患者さんの情報収集を行い、病棟ラウンドにて患者さんやご家族の声を直接お聴きし主治医や病棟スタッフにアドバイスしています。



糖尿病ケアチーム

糖尿病ケア外来にて外来と連携し、退院後のフォローアップや合併症予防・フットケア・透析予防指導等、患者さんが「自分でできること」を見つけて継続できるよう指導・支援をしています。



感染管理チーム(ICT)

感染管理チームは、院内の感染症対策が徹底されているかを監視し、管理する役割を担っています。患者さんや職員を感染症から守るために、感染対策に関する院内研修会を開催します。



褥瘡予防対策チーム

褥瘡予防対策チームは出来てしまった褥瘡ではなく、予防に対して日夜努力しています。



呼吸ケアサポートチーム

患者さんのベッドサイドヘラウンドし、人工呼吸器の医療安全管理や早期離脱、合併症予防対策について提案を行います。



栄養サポートチーム(NST)

患者さんがより早く、元気に退院できるように、栄養改善に向けたカンファレンスや回診を行っています。



認知症ケアチーム

認知症を持つ患者さんが、認知症症状の悪化を予防し、安全に医療が受けられ安心して入院生活を送れるよう、スタッフ向けの研修会なども開催しています。



排尿ケアチーム

排尿ケアチームは、尿道留置カテーテルを1日でも早く抜去し、尿路感染症を防ぐとともに、排尿自立に導くことを目的に活動しています。

4月

【4月】新採用職員研修

済生会や済生病院の基本理念や規則等について学びます

参加者の声

最初は不安だらけでしたが、4日間の研修を通して不安も少し消えて、各部署に行っても頑張れそうです！



5月

6月

7月

【7月】中堅研修

ワークアウトを参考にして問題解決手段や傾聴方法を学び、グループをまとめる能力を身につけます

参加者の声

ファシリテーションの講義、演習がとても勉強になった。今後会議で活かしていきたい。



【8月】接客研修

顧客満足度向上のため、職員の接客マナーレベルアップを図ります

参加者の声

言葉遣いの難しさを思い知らされました。講師の実体験は参考になりました。

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

【9月】リフレッシュ研修

こころの健康をテーマとし、身近なひとの「相談を受ける」「話を聞く」ときの心構えを学び、職員同士でピアサポートができるような職場環境を目指します



【10月】新採用職員フォロー研修

日頃抱えている悩みや不安、喜びを同期の仲間と共有し、仕事のモチベーションUPへつなげます

参加者の声

久しぶりに同期とゆっくり話すことができたりフレッシュできました！

【10 - 11月】BLS研修

急性期病院の職員として、BLSを迅速かつ確実に実施できるように実際にAED等を使用しながら学びます



【12月】主任・副主任研修

役付職員として当院で求められる役割、心構えについて学びます

【9 - 12月】他部署研修

共に同じ職場で働く仲間として他の部署を知り、今後のチーム医療に活かしていきます

【2 - 3月】院内学会

各部署で行っている取り組みや成果を発表する場を設けることにより、実践している事柄を広く院内に周知し、情報を共有することを目的とします。



※病院主催の研修を一部抜粋。

その他各部署、各委員会等主催で各種研修や勉強会を多数実施





臨床検査技士

2022年入職

後藤 聖那

Q1

現在の仕事内容について

私は現在、輸血部門に所属しております。血液型、不規則抗体、交差適合試験などの検査を行い、その製剤を本当に患者さんに使って良いのか調べております。また、月に1~2回当直業務があり、1人で出来るようトレーニングをしております。

Q2

当院を選んだ理由

社会活動やボランティア活動を通して地域に寄り添いながら、高い医療技術の提供に力を入れている点に魅力を感じました。さらに、見学に行った際の職場の雰囲気や職員の温かい人柄に触れ、この病院で働きたいと思いました。

Q3

入職して嬉しかったこと、やりがいについて

患者さんや職場の方々に「ありがとう」と言ってもらえる瞬間が非常に嬉しいです。また、目標を達成できたとき、出来ることや知識が増えたときにやりがいを感じます。

Q4

今後の目標

疑問を持つことを大切にし、より深い知識と高い技術を持った検査技師になれるよう努力していきたいです。さらに、タスクシフトにより出来ることが増え、少しでも多くチーム医療に貢献できるよう努めていきます。

Q1

現在の仕事内容について

現在は、一般撮影、ポータブル、CT検査、TV検査、骨密度検査を1週間ごとにローテーションして業務を行っています。また、月に2回ほど当直があり、救急の対応をしています。

Q2

当院を選んだ理由

病院見学の際の雰囲気がとても良かったことが一番の理由です。診療放射線技師の方をはじめとした全職種の方が丁寧に対応してくださり、患者さんに対しても笑顔で接していたところが印象に残りました。そんな姿を見て、私もこの環境で働きたいと強く感じたことを覚えています。

Q3

入職して嬉しかったこと、やりがいについて

検査や接遇をするなかで、患者さんやご家族に「ありがとう」と言われると嬉しさややりがいを感じます。また、できなかった業務ができるようになったときや、知識が増えてきたときに自分の成長が感じられ、嬉しく思います。

Q4

今後の目標

研修会や勉強会に積極的に参加し、より多くの知識を身につけ、経験を重ねることで技術の向上を図っていきたく思います。また、認定資格試験にも挑戦していきたいと考えています。



診療放射線技師

2021年入職

赤塚 茉好



理学療法士

2023年入職
太田 裕人

Q1 現在の仕事内容について

現在は回復期チームに所属しており、脳血管疾患の患者さんを中心にリハビリを行っています。

Q2 当院を選んだ理由

当院は整形、回復期、他科と3つのチームに分かれており、様々な分野の疾患を経験できることで、理学療法士として成長できると思い当院を選びました。

Q3 入職して嬉しかったこと、やりがいについて

リハビリを通して患者さんができなかったことが出来るようになり、感謝の言葉をかけていただいたときにやりがいを感じます。

Q4 今後の目標

まだまだ分からないことが多いので、多くの知識や経験を積み重ねていきたいです。また、患者さんに安心感を与えられるような理学療法士を目指していきます。

Q1 現在の仕事内容について

リハビリテーション部は大きく3チームに分かれており、私は整形チームに所属しています。人工関節置換術を受けた患者さんや骨折などの外傷の患者さんなどに介入しています。

Q2 当院を選んだ理由

当院は総合病院であり、整形疾患にとどまらず、中枢から循環器まで様々な疾患の介入方法について勉強できることに魅力を感じたからです。また、リハスタッフの人数も多く、多種多様な患者さんへの適切な対応方法を相談できることにも魅力を感じました。

Q3 入職して嬉しかったこと、やりがいについて

やはり患者さんが元気な様子で退院でき、喜んでいただけたときに一番嬉しかったです。仕事に対するモチベーションアップにもなりました。

Q4 今後の目標

まだまだ未熟なので、まずは整形疾患の患者さんに適切に介入できるようになりたいと思います。将来的には、整形疾患以外の患者さんとも関わり、経験や知識を身につけ、どんな疾患にも対応できる理学療法士を目指します。



理学療法士

2022年入職
菅藤 暉央



作業療法士

2023年入職

中村 優花

Q1 現在の仕事内容について

リハビリテーション部の整形チームに所属しています。手外科疾患を中心とした全身の外傷、頸椎疾患、人工関節置換術後の方の機能回復やADL、IADL練習を行っております。特に手外科疾患の方への装具作成にも力を入れております。

Q2 当院を選んだ理由

当院では様々な疾患の方に急性期から在宅復帰まで幅広くアプローチできるため、作業療法士として成長できると思ったからです。

Q3 入職して嬉しかったこと、やりがいについて

患者さんの希望する生活ができるようになった際に、笑顔で報告していただくと大変嬉しくなります。

Q4 今後の目標

作業療法士としても、人としても成長し、様々な疾患や考えを持つ方に対応できるようになりたいと思います。

Q1 現在の仕事内容について

回復期病棟で主に脳血管疾患の患者さんを対象に作業療法を行っています。

Q2 当院を選んだ理由

地域に貢献できる作業療法士になりたいという希望を叶えることができと思ったからです。

Q3 入職して嬉しかったこと、やりがいについて

患者さんが「こんなことができるようになった！」と笑顔で教えてくださいることがとても嬉しいです。

Q4 今後の目標

分からないことばかりなので、積極的に質問し知識と技術を身につけていきたいです。



作業療法士

2022年入職

荒木 琳



言語聴覚士

2023年入職

長谷川 愛楓

Q1 現在の仕事内容について

現在は急性期病棟に所属しています。発症初期の患者様のコミュニケーション面や嚥下機能面の評価を行い、症状に合わせたリハビリテーションの立案、実施を行っています。

Q2 当院を選んだ理由

当院は急性期から回復期までリハビリテーションを実施しています。退院後まで考え、長い期間患者様と関わることができる当院に魅力を感じました。また院内で、急性期で関わった患者様と会えることも魅力であると考えます。急性期・回復期を経験している先輩方が多いため、相談をした際、現状から今後の回復や退院を見据えたアドバイスをもらえるため、自身の成長に繋がると思いました。

Q3 入職して嬉しかったこと、やりがいについて

急性期で担当し、回復期へ転棟された患者様と院内でお会いした際、「一緒にやったりハビリ、今も頑張っているよ」「退院決まったよ、今までありがとう」などと声をかけてもらうことです。

Q4 今後の目標

病気や専門分野についての勉強を惜しまないこと、患者様と関わる時間を大切に、皆様の力になれるよう、日々頑張ります。

Q1 現在の仕事内容について

医療機器の保守点検、高気圧酸素治療、透析業務を行っています。

Q2 当院を選んだ理由

病院見学に参加した際、臨床工学技士と患者さんとの間に信頼関係があると感じました。私もそのような臨床工学技士を目指したいと思ったのが一番の理由です。

Q3 入職して嬉しかったこと、やりがいについて

私たちが機器を点検することで、医療機器に関する事故を未然に防いでいるということにやりがいを感じます。また、患者さんから「ありがとう」と言われたり笑顔を見ることが出来ると嬉しく思います。

Q4 今後の目標

知識を深めて、トラブル時に対応できるようになることが今の目標です。



臨床工学技士

2022年入職

梅津 凜花



管理栄養士

2019年入職

細田 加代子

Q1

現在の仕事内容について

主な業務は入院患者さんの栄養管理、入院・外来患者さんへの栄養指導となっています。管理栄養士は病棟担当制になっており、私は5A病棟と5B病棟を担当しています。他職種と連携しながら、食事量の少ない患者さんへのアプローチや疾患ごとの食事対応を行っています。

Q2

当院を選んだ理由

当院は、急性期病院として様々な分野において管理栄養士としての活躍の幅が広く、自身の成長につながるのではと考えました。実際に、糖尿病をはじめとしてさまざまな疾患の栄養指導やNST活動、集団教室の実施など、多くのことを勉強させていただいています。

Q3

入職して嬉しかったこと、やりがいについて

栄養指導を行った患者さんに「栄養士さんのおかげでよくなったよ」と声をかけていただけるととても嬉しいです。他にも病棟で「ごはん美味しかったよ」といってもらえたり、他職種と関わりあって食事内容を検討した患者さんの栄養状態が改善したり、働いていて嬉しいと思うことは沢山あります。

Q4

今後の目標

今後は、現在担当している病棟の診療科以外も勉強し、様々な病態の栄養管理についてより知識と経験を深めていければと思います。

Q1

現在の仕事内容について

療養中の心理的社会的問題、医療費が心配などの経済的問題の解決、退院後の自宅での介護や施設入所に関わる相談などの退院援助を主な業務内容とし、そのほか地域活動や困窮者支援事業等に取り組んでいます。

Q2

当院を選んだ理由

山形済生病院は社会福祉法人の医療機関であり、複視に力を入れている病院だと知り、大学で学んだ福祉分野の視点を活かせると思ったからです。当院で行っている無料低額診療事業を通して多くの患者さんの安心された声を聞くことで、やりがいを感じています。

Q3

入職して嬉しかったこと、やりがいについて

退院支援や受療援助を行った際、患者や患者家族に感謝の言葉をもらえると嬉しくなります。患者の安心した顔を見ることが日々のモチベーションになっています。

Q4

今後の目標

医療ソーシャルワーカーとしての自分自身の個性を伸ばすことです。今は1年目として基礎を重点的に学んでいますが、今後は個性を伸ばし、強みを探していきたいと思っています。



医療ソーシャルワーカー

2023年入職

高橋 鈴

出産・育児のサポート

妊娠・出産・育児に関する支援を充実させることで、仕事と家庭を両立させながら、長く働き続けられる職場づくりを目指しています。

☆ 院内保育所・病児保育所の併設



☆ 出産・育児のための休暇休業



- ・出産休暇(3日)
- ・育児休業(1歳の誕生日の前日まで)



- ・妊娠時間短縮勤務(始業終業それぞれ30分)
- ・産前休暇8週間取得可能(法定では6週間)
- ・育児休業(1歳の誕生日の前日まで)
- ・育児短時間勤務(3歳の誕生日の前日まで)

など

☆ 山形いきいき子育て応援企業
「優秀(ダイヤモンド)企業」認定

☆ 山形企業イクボス同盟参加企業



暮らしのサポート

☆ 職員宿舍 ドミトリー済生

ご実家が遠方の方等のために、病院の敷地内に宿舍を完備。低額の自己負担が魅力で多くの先輩職員が利用しています！

- ・1DK フローリング・バルコニー付
- ・月額30,000円
※駐車場1台、上下水道代を含む
- ・独身者に限りませんが、山形市内在住者も利用できます



特別優待サービスの充実

☆ 会員制ホテル 東京ビュック

東京出張などの業務での利用はもちろん、プライベートでの旅行など家族での利用も可能です！

- ・東京都中央区勝どき
都営地下鉄大江戸線「勝どき駅」より徒歩1分
- ・格安な利用料金



☆ モンテディオ山形(サッカー)

スポンサー特典としてホームゲーム招待券をプレゼントしています。

互助会制度の充実

山形県済生会には、相互扶助を基本理念とし、医療費・慶弔費等において追加給付を行う制度があります。

給付の内容としては、医療費給付や慶弔祝金等給付(結婚・出産・永年勤続・香典・傷病見舞等)があり、職員だけではなく配偶者や扶養親族にも適用されます。

医療費給付

外来診療(本人)
保険診療負担2,500円を超えた額

入院診療(本人)
保険診療負担10,000円を超えた額

分娩(当院での分娩のみ)
出産一時金を控除した額

職員の健康管理



- ☆ 各種がん検診
乳がん・子宮頸がん・前立腺がん・胃がん
- ☆ 各種予防接種
麻疹、風疹、ムンプス、水痘抗体価検査・ワクチン接種
HBs抗体価検査・ワクチン接種
インフルエンザワクチン接種
- ☆ PET/CT検査
職員の割引制度があり、職員や配偶者は通常の利用料金の半額で検査を受けることができます
- ☆ 職員対象の「健康運動教室」

ほかにも充実した制度があります

☆ 本部共済事業

当院では済生会の退職金2本立てに加入しており、充実した退職金が受け取れます。

また在職時には低利で資金を貸し付ける制度もあります。

☆ クラブ活動助成

院内には7つのクラブがあり、病院から活動費の補助が出ています。

サッカー部、ソフトボール部、バスケットボール部、華道部、登山部、バドミントン部、マッコクラブ・・・

国際貢献 -山形ダッカ友好病院-



バングラディシュの首都ダッカには「山形ダッカ友好病院」があり、当院はその後援事務局として活動しています。

令和4年9月、山形ダッカ友好病院院長のラーマン医師が、医療分野における日本・バングラディシュ間の友好親善に貢献したことを称えられ、旭日双光章を授与されました。



ACCESS

- お車で
JR山形駅より15分、
国道13号線大野目交差点より5分
- 列車で
JR羽前千歳駅下車、徒歩10分
- バスで
シャトルバスをご利用ください
- 路線バスの場合
「山交ビル・山形駅前～天童温泉・楯岡北町行き」
「千歳」バス停下車、徒歩10分

問い合わせ先

〒990-8545

山形県山形市沖町79-1

社会福祉法人 恩賜財団済生会山形済生病院 人事課 今野

TEL 023-682-1111

E-mail jinji@ameria.org

<https://www.ameria.org>



当院ホームページ



マイナビ2025